

Event-Based Education活動報告書

報告書記入者名	國分 洋	所属・役職	アンチ・ドーピング部会 副部長
競技種目	スピードスケート		
競技会名	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第49回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会		
活動日時	2026年1月17日 9時00分～17時00分、1月18日 9時00分～12時00分		
活動場所	フジスイアイスリンクいわて		
ブース活動者	氏名		所属・役職
	國分 洋	(公財)日本スケート連盟医事委員会アンチ・ドーピング部会副部長	
	柘植 昂太	東京科学大学病院	
	黒岩 敏幸	シンボルアスリート	

参加人数

主な参加者 <small>例) 大会参加アスリート、観客 等</small>		大会参加アスリート、サポートスタッフ、保護者、観客						
	アスリート		サポートスタッフ <small>(指導者・NF・チームスタッフ)</small>		その他 <small>(観客・ボランティア等)</small>		日別合計	
1日目	36	人	4	人	2	人	42	人
2日目	1	人		人		人	1	人
3日目		人		人		人		人
総計							43	人

※JADAのクイズテンプレートを使用した場合、スタート編・ステップアップ編の合算数を記載ください。

概要報告

<実施内容> 活動内容、タイムスケジュール、配布物 等 岩手県営武道館にブースを設置、ジュニア選手を中心に、クリーンスポーツクイズ ステップアップ編を実施。		
<会場の雰囲気、ブース設置場所の適正> アップスペースである岩手県営武道館にブースを設置したが、競技会場から離れていたため声かけできる選手が限られていた。 また、基本的に選手のみが出入りする場所であったため、スタッフや保護者への実施が難しかった。 悪天候のため競技会場付近での実施が難しい状況もあった。 エリートアカデミーの選手が積極的に参加してくれた。		
<良かった点・課題> シンボルアスリートとして黒岩敏幸さんが協力してくれたことにより、アップやダウンをしている選手に声かけがスムーズにできた。 ノベルティグッズがあるとジュニア世代は楽しみながら参加してくれるように感じる。		
<現場で受けた質問・回答>		
①	質問	
	回答	
②	質問	
	回答	
③	質問	
	回答	
<その他> ■クリーンスポーツ啓発ページの配布があれば、(印刷)部数についてもご報告ください:		

報告書提出方法: 本シートを更新の上、上記写真3枚程度と一緒に
 JADA事務局: JADA-Education@playtruejapan.org までお送りください。
 注) アウトリーチプログラム終了後、5日以内にご提出をお願いします。

写真①



写真②



写真③

